



国立大学図書館協会 教育学習支援検討特別委員会

# ラーニング・コモンズ整備の現在

大学図書館におけるラーニング・コモンズ  
及び情報リテラシー教育に関する調査  
結果概要

調査実施時期:平成25年10~11月 対象:委員館ほか全14館

## パネル構成

1. 考え方・目標・整備目的
2. 学生等による人的支援
3. 設備・什器
4. ラーニングコモンズを設置して

ここがよかった！

ここが困った！

その他、注目

# 1. 考え方・目標・整備目的(1)



## 北海道大学(2011年11月)

利用者(特に学生)へ柔軟かつ自由度の高い学習空間を提供し、**学習支援と活発なコミュニケーション**を図る。



## 筑波大学(2011年9月)

- 学生の自発的な学習活動を効果的にサポートする機能(**コンテンツ、コンピュータ設備、人的サポート**)を有した学習環境の提供。
- ラーニング・commonsの効果的な運用による学習図書館的機能の拡充。

上記を実現するため、以下の学習スペースを提供する。

- 学生たちが気軽に集い、**教え合う**学びの空間
- 多様な**学習スタイルに応じて姿を変える**万華鏡空間
- 学生同士の交流や諸活動の「見える化」により知的好奇心を刺激して学びの相乗効果を生み出す空間



## 東北大学(2012年11月)

大学図書館内におけるラーニングcommonsは、学生の主体的な学修を支援するための①「**施設・設備**」のみならず、②「**人的サポート**」、③「**コンテンツ**」、④「**大学教育(学生・教員・組織等)との連携**」の4輪が動いて初めて機能し始め、そして発展するものとする。

図書館の学術情報資源やツールを活用し、**グループで議論**しながら主体的に学習できる場と、論文作成指導、IT技術に関する**サポート**を提供する。



## 千葉大学(2012年3月)

知識基盤社会を生き、生涯学び続けるための基礎的な力を備えた「**考える学生**」の創造をめざす「**アカデミック・リンク**」のコンセプトを実現する場。

**学修とコンテンツの近接**によるアクティブ・ラーニングの推進が目的。

## 新潟大学(2013年4月)

学生の自主自立的な学習活動を支援するための「**学びの場**」「**創造の場**」「**発想の場**」としての役割を果たすこと。

学生の共同的・自主的な学習のための快適かつ機能的な環境を提供し、ネットワークを活用した**情報の収集・加工・発信のための設備や人的支援**を提供する。



# 1. 考え方・目標・整備目的(2)

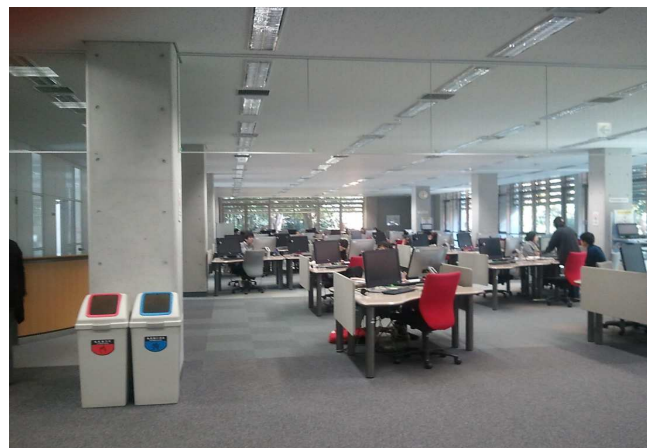


## お茶の水女子大学(2007年4月)

本学のリーダーシップ教育のキーワード“Migakazuba”は、Respect for others(心遣い)／Intelligence(知性)／Confidence(しなやかさ)の3つの要素から構成される。

これらリーダーに必要な力は、1人で学ぶことだけでなく、他者と共にあることで育まれるという教育理念の下、「共に学び共に成長する場」として、ラーニング・コモンズは設置・運営されている。

学内各部署と連携して、図書館内に新しい教育にふさわしい場を学生に提供する。



## 国際基督教大学(2000年9月)

当時(2000年当時)、海外で広がっていたインフォメーションコモンズの考え方を手本に、印刷媒体資料と電子媒体資料の統合的利用を主目標とした。



## 静岡大学(2010年4月)

当館ではLearning Parkというコンセプトを表明している。「Learning」は、学習、研究する場としての図書館、「Park」は人が行き交う都市の中の公園をイメージしている。

人とが出会い、集い、学ぶことができる空間、長時間滞在できる快適な空間で、学生等の利用者の学習・研究をサポートすることを目指している。



## 名古屋大学(2009年12月)

「ラーニング・コモンズは、次のような学習環境を学生のみなさんに提供することを目指しています。

- 図書館の学術情報基盤をもとにして、協同学習、ITを活用した学習が行える総合的な学習環境
- 情報リテラシー能力の育成及び学習を効果的に行えるサポートサービス
- 学習及び学生生活に関する各種情報の提供

## 金沢大学(2010年4月)

学生が効率的に自学自習・グループ学習を行えるような支援を行い、「自ら学ぶ力」の向上に貢献する。

注目キーワード(朱字)をチェックしてね

朱字: 森いづみ(お茶の水女子大学)  
豊田裕昭(東北大学)





# 1. 考え方・目標・整備目的(3)



## 同志社大学(2013年4月)

「知的欲望開発空間」を全体コンセプトとしている。これは、「正課科目」の授業外学習時間の増加と質向上を、アクティブ・ラーニングを通じて推進することを目的としている。

このため、課外活動は想定しない立場である。教育支援機構が運営を担当するのはその理由からである。課外に焦点をあてるのであれば、学生支援センター：旧学生部が管轄となる。しかし、インターシップ、ボランティアを含むサービス・ラーニングの展開など、正課と課外の境がボーダレスになってくる潮流があり、今後調整と見極めが必要になる。正課(に近い活動)と認識する基本は、評価の「アセスメント指標」がそのプログラムに備わっているかどうかにあると考えている。

## 大阪大学

(LC: 2009年6月 / GC: 2012年11月)

○ラーニング・コモンズ(LC) : 図書館所蔵の紙資料と電子資料の双方を自由に利用できる空間で、学生や教員が互いにコミュニケーションを取り合い、共に考え、ディスカッションする**主体的な「学びの場」「創造の場」「発想の場」**。

- TeachingからLearningへ、ReadingからLearningへ大きく変化する教育・学習方法に対応し、自主的、自立的な課題解決型学習を支援。

○グローバル・コモンズ(GC) : ラーニング・コモンズを「学びのスタイルの多様化」「国際化」の方向で機能強化した共同学習空間で、試験期の24時間利用を実現するとともに、**多言語・異文化理解のための自主的な学びと交流を支援する場**。

- 「学びのスタイルの多様化」「国際化」に対応し、24時間利用を実現するとともに、多言語・異文化学習を促進し、留学生と日本人学生の学びと交流を支援。



## 九州大学(2009年10月 / 2009年4月)

九州大学附属図書館では、「**学問的雰囲気と活気に満ちた学習図書館の実現**」をミッションの一つに掲げており、ラーニング・コモンズはこのミッションに沿ったものである。

2017年度に開館予定の新中央図書館では、「**主体的な学びを創出する図書館**」をコンセプトの一つに掲げ、基本機能に「目的や学習形態、人数に応じ選択できる多様な学習スペースを提供」「主体的な学びをうみだす学習の場のマネジメント」等を挙げている。

学部学生の学習の場、授業との連携の場、イベント開催の場、能動的学修を促進する場、知の交流の場。



## 広島大学(2010年4月)

- ネット資源活用を前提とした、**人と情報、人と人が出会う**開かれた学習空間
- **グループ学習・作業のための共同で学ぶ空間**





### 大阪大学

- \*『TA』(6名) : 利用案内、学習相談、学習用図書選書、TA講習会企画
- ・週5日 : 12:00-19:00の間で週25時間
- ・人件費 : TA経費
- ・トレーニング : 説明1~2時間+オン・ザ・ジョブトレーニング随時



### 東北大学

- \*『留学生コンシェルジュ』(5名) : 外国人留学生による多言語での利用案内、学習相談
- ・週5日 : 13:00-17:00
- ・人件費 : 留学生施策充実経費
- ・トレーニング : 説明5時間+実習15時間=20時間
- \*『TA』(3名) : 日本語ライティング指導 : 全学教育科目「レポート力アップのための情報探索入門」のTAが授業時間外も支援
- ・週3日 : 12:00-14:00 / 16:00-18:00
- ・人件費 : TA経費
- ・トレーニング : 授業説明1時間+実習1時間=2時間

## 2. 学生等による人的支援(1)

### 国際基督教大学

- \*『ライティングスタッフ』(10名)
- : 日本語・英語ライティング指導
- ・毎日 : 12:00-15:00
- ・人件費 : 図書館経常経費
- ・トレーニング : 教員や外部ライティング専門家によるスキルアップワークショップ(年2回)
- \*『PCサポート』(10名) : PC利用ガイダンス

### 同志社大学

- \*『ラーニング・アシスタント』(14名)
- : 日本語・英語ライティング指導、PC利用ガイダンス
- ・週5日 : 9:00-19:00
- ・人件費 : 人的スタッフを送ってくる部署の運営経費
- ・トレーニング : アカデミーインストラクターからの指導+10回の講習会(協調学習や学習科学等)





**名古屋大学**  
**\*『サポートスタッフ』(9名)** : 利用案内、学習相談、日本語・英語ライティング指導 : 英語・中国語での対応可能なスタッフを採用  
 ・週5日 : 15:00-19:00  
 ・人件費 : 図書館運営費(人件費)  
 ・トレーニング : 説明・講習会受講・練習問題自習・DVD視聴など=12~17時間



**静岡大学**  
**\*『学習コンシェルジュ』** : 利用案内、学習相談、数学の学習支援  
 ・週3日 : 午後(7月のみ)  
 ・人件費 : 全学キャリアデザイン教育経費・FD部門運営経費

## 2. 学生等による人的支援(2)

### N棟2階 学習支援デスク

Academic Link  
 Chiba University / Academic Link Center

### 2013年度後期 分野別 学習相談

各分野を専門とする千葉大学院生がAcademic Link Student Assistant(ALSA)として学習を支援します。授業でよくわからないこと、先輩にきいてみよう!

2013年09月	月	火	水	木	金	
3 12:50-14:20	数学	化学	数学	物理	化学	物理
4 14:30-16:00	数学	文系	数学	物理	化学	物理
5 16:10-17:40	数学	文系	数学	物理	化学	物理
6 17:50-19:20	数学	物理	数学	物理	文系	物理

「文系学習相談」はレポートの書き方、大学での勉強の仕方などです。

問い合わせ先:  
 alc-info@chiba-u.jp

### 千葉大学

**\*『ALSA-LS』(16名) / 『ALSA-TT』(17名) / 『ALSA-GS』(11名)** : 利用案内、学習相談、日本語ライティング指導 : Academic link student assistant-LS(Learning Support)-TT(Technical Team)-GS(General Support)  
 ・週5日 : 12:50-19:20  
 ・人件費 : 運営費交付金(プロジェクト分)  
 ・トレーニング : 学期ごとに2回の振り返り会実施

### 図書館学習サポーター

(若干名追加募集)

ほくちあーいっしょに  
 図書館で働ませんか?

仕事の内容や、どんな人が  
 学生サポーターとして働いているのか  
 「e-5c NEWSLETTER」  
 に掲載しています  
 発行先: 図書館  
 発行回数: 毎月発行



Cute Supporters メンバーとして  
 図書館で働いてみませんか?  
 学習に役立つ資料ガイドの作成、  
 学習相談などで、勉強に励んでいる後輩を  
 応援する仕事です。

募集期間 平成26年10月 ～平成26年3月(募集あり)	募集対象 常勤に限り該当 学生
勤務時間 伊勢図書館 9時～17時	応募人数 1,000名程度
勤務先 千葉大学図書館 伊勢図書館 平日の昼休み(12:00～13:00)は 交代勤務 (1日あたり2場所)	応募資格 千葉大学の学生に在籍する学生 (平成26年10月以降) 年齢18歳以上 7月30日(日)

応募方法: 図書館ウェブサイトの「ニュース」をご確認ください。  
[https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/outer\\_201307](https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/outer_201307)

### 九州大学(喫煙天空広場)

**\*『図書館学習サポーター』** : 利用案内、学習相談  
 ・週5日 : 9:00-21:00  
 ・人件費 : 学内プロジェクト経費(EEP: 教育の質向上支援プログラム) 及び 情報統括本部からの経費





### 新潟大学

- \*『FL-SALC英語学習アドバイザー／FL-SALCアシスタント』：英語学習相談、FL-SALC利用案内
- ・週5日：9:00-18:00／9:00-16:00
- ・人件費：グローバル人材育成推進事業経費
- \*『ラーニングアドバイザー』(24名)：利用案内・学習相談
- ・週5回：13:00-16:00
- ・経費：学生スタッフ支援経費
- ・トレーニング：説明1時間



### 筑波大学

- \*『ラーニング・アドバイザー』(7名)：利用案内、学習相談、日本語ライティング指導
- ・週5日：14:00-19:00
- ・人件費：図書館管理費(賃金支弁経費)
- ・トレーニング：外部講師セミナー一年1回+アドバイザー同志の勉強会月1回(2時間)

## 2. 学生等による人的支援(3)

### お茶の水女子大学

- \*『ラーニング・アドバイザー』(21名)：PC利用ガイダンス、システム等入力支援
- ・週5日：9:00-21:00
- ・人件費：特別経費(学生主体の新しい学士課程の創成-21世紀型リベラルアーツと複数プログラム選択型専門教育経費)
- ・トレーニング：1勤務(4時間)を経験者と実習



### お茶の水女子大学

- \*『LiSA』：学生協働による図書館活性化プログラム：図書の装備、カウンター補助、リポジトリデータ入力など

# 3.設備・什器

荷物入れ用サイドワゴン  
(お茶の水女子大学、  
広島大学)

カフェ  
(金沢大学)

ゆったりできる応接家具  
(広島大学)

ひざかけ  
(お茶の水女子大学)

ベンチ、ピクチャーレール  
(北海道大学)

展示用書架  
(筑波大学)

壁面ホワイトボード  
(金沢大学)

マルチメディア編集設備  
(新潟大学、  
同志社大学)

SkyPe  
(新潟大学)

スキャナ  
(新潟大学)

ひとり用据置PC

14  
12  
10  
8  
6  
4  
2  
0

グループで使うこ  
とを想定した据置  
PC

可動式パーティ  
ション

プロジェクター用  
投影スクリーン

貸出用PC(タブ  
レット、ポータブ  
ルを含む)

調査対象14大学中  
の設備保有数

プロジェクター

ホワイトボード

海外放送受信設備  
(名古屋大学、金沢大  
学、同志社大学)

テーブル型  
タッチディスプレイ  
(大阪大学)

電子黒板  
(大阪大学、  
同志社大学)



## 4.ラーニングcommonsを設置して

# ここがよかった！

### 北海道大学

メディアコートには、ベンチを設置しているが、床面が暖房付きのカーペットであるため、床に直接座ってベンチを学習机としてグループ学習する学生が多く見受けられるようになった。



図書館のおねえさんたちは、びっくりしたんですよという反応が学生さんたちに伝わっているんでしょう。そのやりとりが図書館の財産です。いい雰囲気が出てます。(広島大学 野村)

### 千葉大学

特に利用指導はしていないが、学生たちは可動式の机、椅子、ホワイトボードを自由に使って学修している

おおっ、大学図書館らしい。想定外の使われ方をしても、咎めない。驚いて、感心して、そのことを伝える、メッセージする。それだけで好循環が生まれそう。(広島大学 野村)

### 名古屋大学

試験期など最も利用が多い時には、着席率が70%を超える。非常に良く利用されている。

よく利用されされています。また、利用状況も細かく把握できています。(金沢大学 村田)

### 北海道大学

オープンエリアの拡張後は、学生の利用方法に変化が出てきた。ホワイトボードを使った自由なディスカッションが行われるようになった。

この変化こそ、図書館が望むものですね！(筑波大学 内島)

こういうの見ていてうれしくなりますよね。「オープンエリアの拡張」と「学生の利用方法の変化」の因果関係を探れるとラーニング・commonsデザインの大切なポイントになります。隣のグループとの距離？利用者が多くなったから？(名古屋大学 岡部)

### 広島大学

ゆったり空間で長時間利用に備えた椅子を有するスタディスペースは利用者で早くうまる。

一人で静かに学習したいという従来型の利用も多いので、グループ学習以外のスペースも十分確保しておきたいですね。(金沢大学 村田)

### 静岡大学

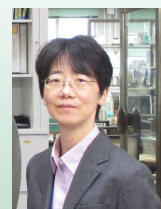
ファミレス風ブースの人気の高い。

私たちが提供している家具、器具というのは、需要にマッチしているのか謙虚に見極めなきゃあいいですね。(広島大学 野村)

机や椅子の並び替えがいらないので、気軽に利用できます。(金沢大学 村田)

### 大阪大学

LC設置後、入館者数が急増し、設置前に比べ約1.5倍に増加した。主な要因は、LC設置により、それまであまり図書館を利用しなかった学生が、LCの利用を目的として図書館に来るようになったためと思われる



LCを図書館内に設置することで、未利用者の利用が促進された好例です。どこの図書館にとっても、利用者増を図書館の活性化につなげるのが肝要になりますね。(九州大学 渡邊)

### 九州大学

LCとそれ以外(参考図書)のエリアのゾーニング。静謐なスペースが騒がしくなることはなく、学生は上手く使い分けしている。

声を出して話や議論ができるエリアと、一人で静かに自習ができるエリアを、うまくゾーニングすれば、学生は上手に使い分けると思います。(大阪大学 星屋)

### 新潟大学

学外の方も気軽に立ち寄ることのできるラウンジ的機能を備えたインフォメーションラウンジ……LCと同様の機能を備えていることから、第2のLC的な使われ方をしている。

利用者の学習行動からラーニング・commonsの拡充につながる好事例です。(新潟大学 長谷川)

### 筑波大学

既存の環境と調和し、境界を意識することなく誰もが出入りできるというメリットを生かし、従来の通路にホワイトボード・展示用書架等を配置してプレゼンテーションエリアとして活用している。

意図して作られたスペースだけでなく、既存の空間をいかに学修空間としてデザインしていくか。これ大切です。(名古屋大学 岡部)

# ここが困った！

### 筑波大学

ワーキンググループ体制での運営から定常業務体制への移行

### 名古屋大学

サポートスタッフ担当：参考調査掛、施設・設備担当：閲覧掛

### 新潟大学

情報サービス係、情報調査係



ラーニング・コモンズの担当者が係横断のWGであったり、複数係にまたがる場合に、運営方針に関する意志統一が難しかったり、それぞれの利害関係が衝突したりと問題も出てきそうです。なにより、これまでのレガシーな業務に新しい学修支援という大きな業務が付加されるので、係業務の見直しも必要になってきます。人を増やさず解決できる何か良い方法はないものでしょうか？(名古屋大学 岡部)

### 九州大学

元々書架が並んでいたところを改修したため、風通しが悪く、空気がこもって暑い。

LCに限らず空調に対する図書館への要望はとも多いですね。可能ならば、個別空調を導入したいものです。(金沢大学 村田)

### お茶の水女子大学

現在は、LAの人柄やスキルに依存するところが大きく、それぞれのスキルが引き継がれていない。体験談や特殊な技術などは、研修などですべてまかなうのは困難。対応マニュアルを明文化しているわけではないため、実質、アドバイザー本人の裁量によるところが大きい。



学習支援の内容が、担当する学生スタッフの資質や性格等に左右されるとともに、スキルの継承が難しいのは確かだと思います。それは、学生スタッフだけでなく、学習支援に携わる図書館職員にも言えることで、今後の活動を担う学生スタッフや職員を、どのように獲得・養成していくかが課題の一つだと感じています。(大阪大学 星屋)

大学という場にあっては、すべてに組織的な取り組みを求めなくてもいいかもしれない。困るのは組織的な活動を求めるあまり、突出した成果を出させない組織文化のほうだ。すごい人が現れて、それが大学の特色になって、何か成果が生まれて、そして引き継がれなかったとしても、それはそれで大学の特色のひとつといえるかもしれない。大枠の部分で組織的な取り組みが出来ていればいい。(広島大学 野村)

### 同志社大学

いつでも教室にリノベーションできるように設計されたので、照明等が教室仕様であり、せっかくグループでの議論の集中力を高めるような照明施設(ダウンライトの多用)にはなっていない。

ガラス張りが採用される中で、天井の高さや照明、空調管理等についても、設計時に要確認ですね。(東北大学 豊田)

### 広島大学

予想以上に什器が汚れる、座面清掃等や交換などメンテナンスに予算を割かねばならない。

### 九州大学

清掃のコストがかかる(利用が多いため汚れやすい)

什器類の汚れと清掃は事前に想定しなければならぬ。(東北大学 豊田)

### 九州大学

ガラス張りにしたため、外気温やPCの熱について、温度制御が難しい。

### 九州大学

空調集中管理のため、温度設定等の微調整ができない。



# 続・ここが困った！

## 北海道大学

床がフリーアクセスになっていない場所までLCのエリアを拡大したので、床から配線できない場所が出てしまった。

床配線についても、事前の検討課題である。(東北大学 豊田)

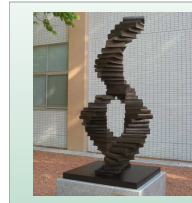
## 東北大学

ノートPC利用者用に、OA床に電源を用意したが、可動式テーブル・椅子があるエリアでは、電源ケーブルが結構邪魔。

## お茶の水女子大学

席と席が近いため、荷物をとなりの席に置く人が多い。

ラーニングコモンズの机にカバンやバッグを置くという行為は社会人としてのマナーに反するけど、その点はしっかり指導してやったのがいいのか、いつも気になります。就職試験の面接や大事な取引先に行った時に、そんなことをしないでくれと祈る。(広島大学 野村)



貸出ではなく、LCに置いて自由に使うてもらえばどうでしょうか。(金沢大学 村田)

## 九州大学

プロジェクタの貸出をしているが、利用されていない。

## 大阪大学

各種電子黒板の利用が少ない。

利用者はホワイトボードや、プロジェクターの方を好む傾向があるようです。操作方法を覚えたり接続に手間がかかるのは少し敬遠するのかも。(金沢大学 村田)

## 名古屋大学

グループラーニングエリアでの可動式机があまり活用されなかった。ホワイトボードがあまり利用されなかった。

設備・什器類は、想定通りの利用がない状況が見られるので、導入時の検討や利用促進策の検討が必要か。(東北大学 豊田)

## 名古屋大学

ライティングサポートエリアは意図に反し、ライティングによる利用があまりされていない。

この話はよく聞きます。ウリにしている機能が mismatch なのか、提供方法に工夫が足りないのかわかりません。しかし、よく利用されている図書館もあります。その条件の違いを検討するととにかく有益な情報が得られるかも。(広島大学 野村)

## 同志社大学

電子黒板が一部の就職希望者らを除けば、十分に使いこなせているとはいえない。

## 千葉大学

静かな環境を求める声もある。

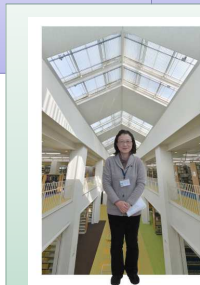
## お茶の水女子大学

壁がないため、時として、話し声が気になる場合があること。

グループ学習やイベント時の騒音と静寂を求める利用者との調整やゾーニングが必要か。(東北大学 豊田)

## 北海道大学

静かな学習環境を好む学生も多いこと。サイレントエリアのゾーニングについては何回かの試行錯誤があった。



従来どおり、図書館に静かな学習環境を求めている学生も少なくない。会話スペースとの共存共栄は運用の鍵になりますね。(新潟大学 長谷川)

LCとして独立した空間ではないため、「会話もできる場」としての活用が不十分で、LCとは別に設置した「スタディ・スペース」(静かな学習空間)との差別化が図れていない。

「ラーニング・コモンズの学修環境」を考える場合、「会話できるグループ学修空間の整備」だけを考えがちですが、「個別学修空間の整備」も忘れることはできません。実際、ラーニング・コモンズで一人で学修している学生も結構目につきますよね。失敗OK! 見えない問題は解決しにくいですが、見える問題には必ず解決策があるはず! ラーニング・コモンズは成長する有機体です。(名古屋大学 岡部)

# その他、注目

### お茶の水女子大学

人的サポートは必須である。・・・ライティング指導なども行っていきたい。

### 新潟大学

学生による学習支援サポーターの資質を向上させるしくみや雇用の継続。

### 筑波大学

LCでの中核的な学習支援活動を維持するためには継続的な教員との連携が可能な体制・制度作りも必要。

### 筑波大学

学習サポートデスクの認知度向上のためには・・・強制的な利用を促進させることも必要

人的サポートの確保、経費、資質向上、認知度向上、アドバイス件数の増加など、人的サポートに係わる課題がたくさんあります。(新潟大学 長谷川)

### 名古屋大学

当初はTAを配置したが・・・事務補佐員として雇用している。

同感です。効果的な学習支援を行うためには、教員等との連携協力が不可欠です。また、その活動を継続するためには、教員組織等との組織的な連携体制の構築が必要と考えます。(大阪大学 星屋)

### 多くの大学

シラバスやシラバス掲載図書、英語多読テキストなど語学学習用図書、ライティングほかアカデミックスキル関係の図書などをラーニング・commonsに配架し、学修に活用できるようにしている。

図書館にあるラーニング・commonsの機能として、「場」「人的支援」「コンテンツ」が言われていますが、実際にラーニング・commonsで図書館の用意した資料がどれだけ活用されているかは疑問ではないでしょうか。学生の学修プロセスの中でラーニング・commonsを活用するステップは図書館の資料をあまり必要としないのか？どのようにすれば「コンテンツ」を学修に組み込んで、ラーニング・commonsにおけるアクティブラーニングに繋げていくのか。これはなかなか難しい課題です。でも、これを明確にできないと、「ラーニング・commonsは図書館にある必要はない。」と言われかねません。(名古屋大学 岡部)

### 大阪大学

現在LC・GCでの学習支援に協力・・・学内関係組織と連携に向けた協議を進めていきたいと考える。

### 北海道大学

他部署との連携、学生との協働による意見を取りいれながら、全学の図書館を構築していく必要があると考えている。

### 新潟大学

教員組織との連携協力による、学生の能動的学習を支援するしくみ

各大学のミッションに沿った運用や教育組織や学内部署との連携は、これからの図書館の重要な課題とされます。(新潟大学 長谷川)

### 東北大学

留学生課、・・・高等教育開発推進センター等との連携



# 続・その他、注目

## 東北大学

「情報リテラシー教育」という名称は、他のICT系の研修や授業でも使用しており、特にネットワークやPCのスキル向上を意図した内容で、教員や学生にもそのように認識されている。当館では、図書館の利用者に誤解を与える可能性もあり、特に「情報リテラシー教育」という名称は使用していない。

素晴らしいですね！このようなポリシーを館として持つことは学習支援をやっていく上で必須。わが大学でも是非そうしたいです。(筑波大学 内島)

タイトルだけでなく、意図を明確にしているメッセージ、いいですね。(広島大学 野村)

## 九州大学

Google活用術(H25)「とりあえずググる」という学生のために、一歩進んだ検索のコツを紹介。

## 同志社大学

3月に外部評価委員に来てもらい、問題点を指摘してもらう予定。委員は高等教育や学習科学の専門家であって、図書館情報学等の領域の研究者に依頼する予定は、今後も含め全くない。

いわゆるPDCDサイクルのC(評価)をどのようなしくみで行うかはとても重要。学生さんから直接意見をもらう「館長と語ろう」や利用者アンケート、教育学習面成果を検証のために「全学FD」などを開催している事例があります。(新潟大学 長谷川)

先進的な取り組みを行っている大学では、すでに多くの課題が顕在化しているようです。また、LCの評価には、図書館情報学ではなく、高等教育や学習科学の専門的知識が不可欠との指摘には要注目です。(九州大学 渡邊)

## 北海道大学

職員によるレファレンス支援、学生による学習アドバイザーの設置を検討中。学生スタッフについては、予算の確保と、図書館によるTAの雇用体制の確立などの課題がある。



学生の雇用体制はどこも同じ問題を抱えていますよね。図書館でTAが必要という考えを飲み込んでもらうのは図書館の学習支援事業の理解促進につながるものでもあります。(筑波大学 内島)

## 東北大学

文科省の方針や大学のビジョンに沿った「グローバル化」をキーワードとした設備・支援が必要と考えている。

大学にとって、いまや「グローバル化」は重要なキーワードです。図書館の中だけに籠らず、国の政策や大学の方針を常に注視する姿勢が、我々図書館職員には求められるでしょう。(九州大学 渡邊)

## 同志社大学

「ノートの作り方」、「ポスターの作り方」、「レジュメの作り方」。

きめ細かいテーマ、需要にあった企画、いいですね。パンフレットやマニュアルにプラスしてこの講習会をすると効果3倍まちがいない。(広島大学 野村)